



# 遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3  
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



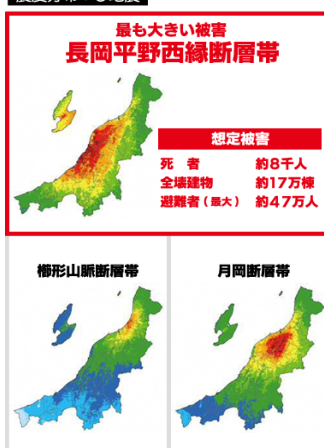
原発再稼働ストップ

## 福島第一原発事故の教訓は…①大地震と津波が起こり、②原発が過酷事故を起こした 令和4年、新潟県は「地震被害想定調査」を 発表し、県民に地震への備えを呼びかけました。

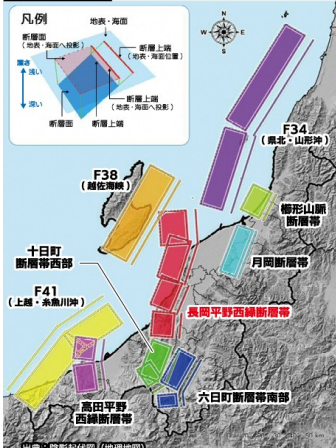


報告書は県ホームページ参照 <https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/305959.pdf>

震度分布：⑨地震



想定地震位置図



2008年春、東電子会社が政府の地震調査研究推進本部(地震本部)による長期評価(地震の規模や一定期間に地震が発生する確率を予測したもの)に基づいて津波の高さを計算し、福島第一原発には敷地の高さ10メートル

【福島の教訓】2005年5月、福島の市民団体が東電に「地震や津波が来ると原発事故が起こるから、必要な安全対策をとれ」と要請しました。

長岡平野西縁断層帯は阪神淡路大震災を上回る被害が発生すると警鐘を鳴らしました。  
**原発と共存などできないでしょう！**

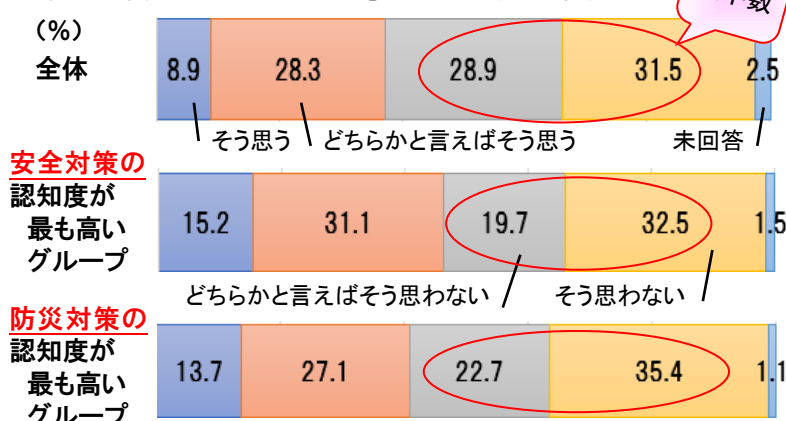
| 被害項目(抜粋)     |      | 単位   | 長岡平野西縁断層帯  |
|--------------|------|------|------------|
| 建物被害<br>(全壊) | 揺れ   | 棟    | 112,678    |
|              | 液状化  | 棟    | 1,743      |
|              | 土砂災害 | 棟    | 653        |
|              | 津波   | 棟    | 425        |
|              | 火災   | 棟    | 55,746     |
| 合計           |      | 棟    | 171,244    |
| 人的被害         | 死者数  | 人    | 7,920      |
|              | 負傷者数 | 人    | 56,922     |
| ライフライン被害     | 上水道  | 断水人口 | 1,375,222  |
|              | 下水道  | 支障人口 | 1,227,818  |
|              | 電力   | 停電軒数 | 計 642,431  |
|              | 通信   | 不通回線 | 回線 839,314 |
|              | 都市ガス | 停止戸数 | 戸 338,243  |
| 道路           | LPガス | 支障戸数 | 戸 1,294    |
|              | 道路   | 箇所   | 997        |
| 避難者          |      | 人    | 471,386    |
| 被害額          |      | 兆円   | 22.63      |

9割が「豪雪時に避難・屋内退避できる除雪体制のさらなる整備が必要だ」と回答しています。

【新潟では「花角知事も安全を重視していたはずなのに」新潟県は地震被害想定調査で警鐘を鳴らしました。

しかし、東電はこれに耳を傾けず放置したのです。津波が来襲する可能性がある」と結論を出しました。

### 柏崎刈羽原発6, 7号機の再稼働に関する考え方 「再稼働の条件は現状で整っている」に対する回答(全県集計)



すべて過半数

県民こそ、福島第一原発事故の教訓を素直に正しく受け止めています。知事は発言を撤回すべきです！

圧倒的多数の県民は再稼働に不安を感じ安全対策の整備を求めているのです。知事「容認」の根拠「認知度が高い層は再稼働認める割合が高い」は本当か？  
左の調査結果をみれば明らかのように、「再稼働の条件は現状で整っている」の問いに、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」の回答は60・4%であり、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の37・2%を大きく上回っています。

知事や県議は「調査結果を正しく見よ！」  
再稼働の判断は、「県民に信を問え！」